

平成27年5月13日
京成電鉄株式会社

より安全に、更なるサービスの向上を目指して

平成27年度 鉄道事業設備投資計画

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、平成27年度に鉄道事業で111億円の設備投資を実施し、安全輸送の確保やお客様サービスの向上に努めてまいります。

- ・大規模地震への対策として駅舎、高架橋柱、トンネル中柱の耐震補強工事を実施し、トンネル中柱については全線で対策が完了します。
- ・風水害対策として法面補強工事を実施し、京成成田駅については、平成26年度より実施していた法面補強工事全体が完了します。
- ・平成29年度の全線導入完了に向けて、A T S（自動列車停止装置）の機能向上工事を推進します。今年度は押上線、千葉線、東成田線においてデジタルA T S化が完了します。
- ・省エネルギー車両の3000形（6両×2編成）を新造します。
- ・押上線押上駅～八広駅間の墨田区内連続立体交差事業について、平成28年度の事業完了に向けて、下り線の軌道工事及び電気工事を実施します。
- ・京成津田沼駅において実施中の耐震補強工事及び駅舎改良工事が完了します。
- ・運行情報ディスプレイの設置を推進し、全駅への設置を完了します。
- ・より快適にご利用頂けるよう、京成成田駅等でお客様トイレのリニューアルを実施します。



下り線で軌道工事及び電気工事中の京成曳舟駅

平成27年度の鉄道事業設備投資計画の概要は別紙のとおりです。

(別紙)

平成27年度 鉄道事業設備投資計画について

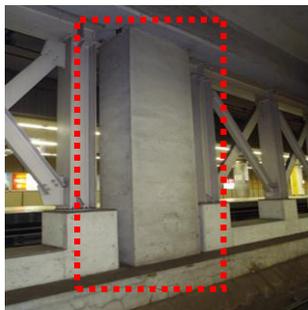
1. 投資額 111億円

2. 概要

(1) 安全対策の強化

① 耐震補強工事

大規模地震への対策として、駅舎（京成津田沼駅、ユーカリが丘駅）、高架橋柱（京成上野～国府台間等）、トンネル中柱の耐震補強工事を実施します。このうちトンネル中柱については、本年度で京成上野～日暮里間及び押上～京成曳舟間で補強工事が完了し、全線で対策が完了します。



工事前



鋼製パネルによる補強

工事後

トンネル中柱の耐震補強工事（押上駅）



京成成田駅



京成佐倉駅

駅舎の耐震補強工事

② 法面補強工事

集中豪雨などにより法面（線路脇斜面）の土砂が流出することを防ぐため、京成成田駅、京成臼井～京成佐倉間等全7箇所、法面の補強工事を実施します。このうち、京成成田駅においては、平成26年度より実施していた、駅の南側の法面補強工事が完了し、風水害への対策強化が図られます。この他、線路内への雨水流入を防ぐため、線路脇へ側溝を敷設する工事を実施します。



工事前



工事後

法面補強工事（京成成田～東成田間）

③ A T S（自動列車停止装置）の機能向上

平成20年度から、従来のA T S（自動列車停止装置）の機能に加え、より連続的で細かい速度制御や踏切道における保安度向上を行うことにより更に安全性を向上させた、デジタルA T S（C-A T S）の導入を推進しております。

今年度は、押上線、千葉線、東成田線においてデジタルA T S化が完了し、昨年度までに供用済みの区間と合わせて、全線の約9割がデジタルA T S化されます。なお、全線への導入完了時期は平成29年度を予定しています。



デジタルA T Sの整備状況

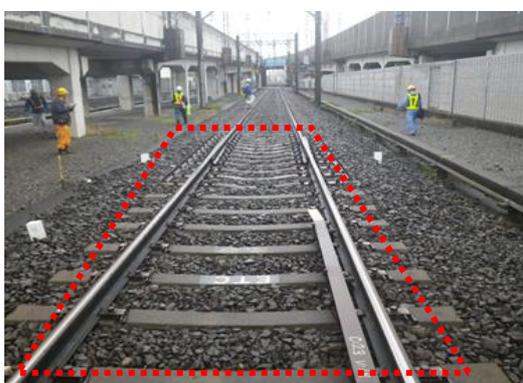
④ 鉄道施設の更新・改良

安全性の維持・向上のため、軌道設備、電気設備、高架橋等の更新・改修工事を計画的に推進します。

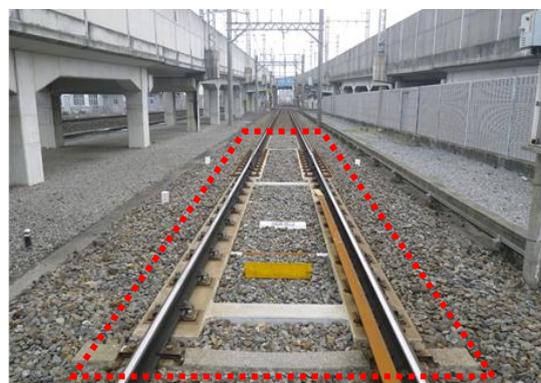
軌道設備においては、線路の下に撒く砕石の厚みを増す工事や、軌道変位が生じにくいマクラギ（ラダーマクラギ）への交換等を実施し、運転保安度の向上ならびに乗り心地の改善を図ります。

電気設備においては、安定的な電力供給のため、変電所の設備機器の更新工事を実施するほか、今年度は検知方式を3次元レーザレーダ式とした踏切自動障害物検知装置への更新等を行います。

また、耐震補強工事と併せて、高架橋の改修工事を計画的に推進します。



工事前



工事後

ラダーマクラギ工事（京成高砂～京成小岩間）

⑤ 車両新造

電力回生システムを備えた省エネルギー車両の3000形（6両×2編成）を導入します。

この車両は、省エネルギー性に優れたVVVFインバーター制御を採用しているほか、全ての客室内照明に節電効果の高いLED照明を採用し、従来の車両（代替廃止車両）と比較して消費電力が約60%低減します。この他、車いすスペースを1編成あたり2か所に設置、また、訪日外国人のお客様にも安心してご利用頂けるよう車内ドア上には4か国語（日・英・中・韓）で駅名等の案内が可能な液晶ディスプレイ（LCD）を設置、さらに快適な車内環境を提供するため、紫外線を遮るUVカットガラスを新たに採用するなど、人にやさしく環境に配慮した車両となっております。なお、今年度の新造車両も含めた全ての3000形車両について、車両中央部の冷房吹き出し口へ風量調整板を設置し、車内温度を均一化することにより冷房使用時の快適性向上を図ります。



▲液晶ディスプレイ（LCD）



▲LED照明



▲（参考）新造する3000形車両

⑥ 駅ホームの安全対策の強化

視覚に障害をお持ちのお客様が駅ホームから転落する事を防止するため、ホーム内側部分に線状の突起を付け、ホームの内外を知らせる内方線付点状ブロックを京成小岩駅、江戸川駅、八広駅、船橋競馬場駅、京成佐倉駅、京成成田駅に設置します。

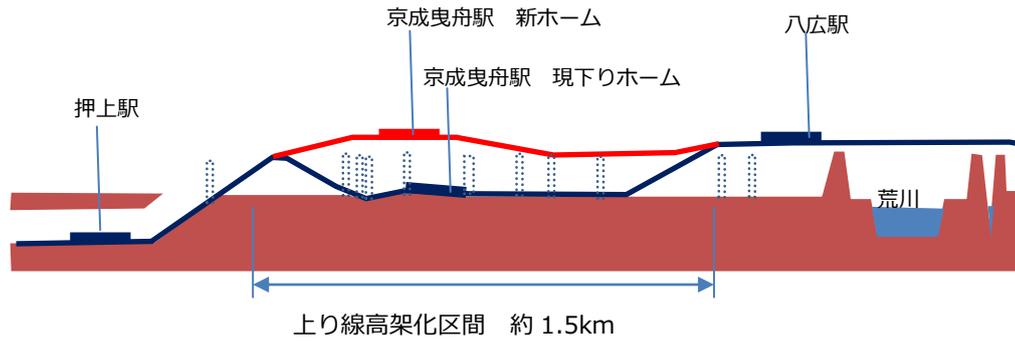
なお、駅ホームにおける更なる安全性向上のため、転落検知マット、ホーム柵の設置に向けた検討を実施します。



▲内方線付点状ブロック

⑦ 墨田区内連続立体交差化工事（押上～八広間 1.5 km）

押上線の押上～八広間において、東京都の都市計画事業として連続立体交差事業を実施しております。平成25年度には上り線の高架化を行い、踏切遮断時間が約4割削減されました。今年度は平成28年度の事業完了に向けて、下り線の軌道工事及び電気工事を実施します。この事業の完了により、鉄道と道路が立体交差化されることで8箇所の踏切が除去され、交通渋滞の解消、鉄道・道路それぞれの安全性の向上を図ります。



▲墨田区内連続立体化工事 縦断面図



▲下り線で軌道工事及び電気工事中の墨田区内連続立体交差化工事

⑧ 葛飾区内連続立体交差化工事（四ツ木～青砥間 2.2 km）

引き続き用地買収等を実施し、事業の推進を図ります。

（2）サービスの向上

① 京成津田沼駅の駅舎改良工事

平成26年度より、耐震補強工事と併せて実施してきた、京成津田沼駅の駅舎改良工事が完了します。1・2番線ホームおよび3・4番線ホームにエスカレーターを追加設置するほか、乗換え通路を拡幅することで、スムーズにお乗換え頂けるようになります。また、お客様に快適にご利用いただくため、お客様トイレのリニューアルを実施するほか、改札窓口を京成八幡駅、京成成田駅に続き当社線で3駅目となるウォークインタイプにリニューアルします。さらに、平成28年度にはコンコース内に店舗の新設を予定しており、ご利用のお客様の利便性向上を図ります。



京成津田沼駅完成イメージ図

② お客様トイレのリニューアル

平成23年度より、駅を快適にご利用いただくため、お客様トイレのリニューアルを実施しております。今年度は、駅舎改良工事を実施する京成津田沼駅のほか、押上駅（A2 出口側）、京成曳舟駅、京成成田駅のお客様トイレをリニューアルします。また、各駅のお客様トイレの洋式化を順次推進します。



▲（参考）26年度にリニューアルした京成関屋駅トイレ

③ 運行情報ディスプレイの設置

平成25年度より、異常時の運行状況や振替輸送をわかりやすくご案内するため、運行情報ディスプレイの設置を推進しております。今年度は新三河島駅、京成曳舟駅、京成津田沼駅、ユーカリが丘駅の4駅に設置し、全駅の設置を完了します。



▲（参考）26年度に設置した京成八幡駅の運行情報ディスプレイ

（3）環境対策

① 駅・車内照明のLED化

さらなる環境負荷の低減を図るため、京成津田沼駅の駅舎改良工事にあわせてコンコースの照明をLED照明に変更します。

また、今年度新造する3000形車両（6両×2編成）の客室内照明を全てLED照明とするほか、既存の3700形車両（8両×2編成）の客室内照明をLED照明に変更します。

② 環境にやさしいクーラーへの交換推進

車両のクーラー更新に伴い、冷媒をオゾン層への影響が少ないフロンに交換します。

③ お客様トイレの節水化

お客様トイレのリニューアルに伴い、トイレの便器や洗面器具を節水対応のものに交換します。

④ 屋上緑化の実施

今年度改良工事が完了する京成津田沼駅の当社関連施設において、屋上緑化を実施し、冷房負荷の低減を目指します。

以 上